

下水流臼太鼓踊の現在の活動

下水流臼太鼓踊 北京へ

国の無形文化財に指定されている西都市の下水流臼太鼓踊が、中国・北京市で、今年八月一日に奉納される。保存会（橋口昭彦団長、三十四人）は、八月一日に奉納される。保存会（橋口昭彦団長、三十四人）は、八月一日に奉納される。

22日 国際文化節

西都・宮崎をアピールするよい機会。ダイナミックな踊りをぜひ、中国の人々に見てもらいたい。」と話していた。

西都・宮崎をアピールするよい機会。ダイナミックな踊りをぜひ、中国の人々に見てもらいたい。」と話していた。

県指定（国選択）の無形民俗文化財である下水流臼太鼓踊が中国の北京市が主催する国際イベントに参加した。九州代表として、そして初の本格的海外公演である。

保存会（橋口昭彦団長、34人）のうち団長を含む28人が北京入りした。

橋口団長は「西都と宮崎をアピールするよい機会。ダイナミックな踊りをぜひ、中国の人々に見てもらいたい。」と話していた。

【宮崎日日新聞2007.9.17】

Culture Area

Akihiko Hashiguchi
昭和32年12月4日生まれ。昭和56年に下水流臼太鼓踊保存会に入会し、その後継者として活躍する。また、祖父、父も歌い手を務めており、3代目歌い手を務めた。同会の14代目代表を務めた。平成18年に同会の副団長、平成19年に団長を務め、現在に至る。現在、熊本・下水地区在住。

Interview

橋口 昭彦さん

中国・北京市で北京オリンピックのプレイベントとして開催された第10回北京国際観光文化節。このイベントに下水流臼太鼓踊保存会が日本代表として臼太鼓踊を披露した。

今回の海外公演をとおして、団員の結束力がさらに強まり、参加して良かったと思えました。

9月22日に中国・北京市で北京オリンピックのプレイベントとして開催された第10回北京国際観光文化節。このイベントに下水流臼太鼓踊保存会が日本代表として臼太鼓踊を披露した。本格的な海外公演は初めてという同保存会、6月に参加依頼の連絡があった時は出場を迷いましたが、経験出来ないことなので、全国で相談して承諾しました。昭彦さんは話します。

下水流臼太鼓踊は、毎年旧暦の8月1日に臼太鼓踊保存会が、日本代表として臼太鼓踊を披露し、他の踊りを見て比べてテンションが上がり、動きが活発なのが特徴です。この激しい踊りによって、神の魂められるといわれています。

今回のイベントを主催する北京市政府などから出場団体を依頼された九州観光推進機構が、九州各地のさまざまな民俗芸能の中から特色のある臼太鼓踊に注目し、日本代表として選ばれました。

21日の夜に北京入りした28人の保存会は、22日のイベントでは、約22万人の観客が盛大な声援を送るなか、各国代表と一緒にメインストリートに練り歩き、パレードのメインステージで、臼太鼓踊を披露しました。「思った以上に声援がすごかったのが大変驚きました。スターみたいな気分で気持ちよく踊れました。」と笑顔で話していた。保存会会長2年目を務める下水流地区在住の50歳である。

広報さいと November 2007 112